全國的單一無產政黨成立のために、凡ゆる妨害と困難に對し、他の友黨團體と共に戰つて來た。

而して昨年農民勞働黨の結黨當時に於ける總同盟の階級的裏切りに際しても、兎單一黨を成立せしめんことの努力のために、總同盟との對立關係を慮かつて、一時、自發的に準備會から脫退し、以て無產者黨の乘りあげた暗礁を突破せしむるに努め、更に第二次勞農黨の組織過程に於いても、黨を一日も早く成立せしむるがために、遠慮して來たのであつた。

而して更に、第二回中央委員會に於ける入黨制限撤廢後も尙へ共黨本部からの希望を容れて、特に評議會の幹部は入黨を遠慮して來た。

評議會と總同盟との對立關係から生じた、而して政黨組織運動に於ては放き理由に基くものであつたにも拘らず、しかもそれ等を放て忍んできたのは、我が無產階級にとつて、全國的單一無產者黨の成立が、絕對的に必要であると考へたが故である。

而して今日に於てもこの考へには毫も變りはないのである。

しかるに今や、我が國無產階級の熱烈なる希求と、獻身的努力に依つて成立した無產者黨は、中央委員會中に於ける總同盟一派の反動幹部の策動によつて、つひに骨拔きにされ、勞働農民黨はプルジョア黨の一分派にならんとしつゝある。

何故三團體排斥と鬪はねばならぬか

吾等は既に無產階級の階級的利害のために最も勇敢に鬪爭する三團體を排除したことは、勞農黨を小プルジョア黨化さんがために企てられた反動幹部に依る陰謀に外ならぬことを述べた。

即ち三團體排斥の問題は、排除された三團體丈けの問題では斷じてない。反動幹部の手によつて、小プルジョア黨化さんとしつゝある勞働農民黨を全國的單一無產者黨として鞏固せしめるために、三團體排斥に對して全國的に抗爭の運動を起すこと、黨を日常政治鬪爭の機關として活動せしむるべく黨を無產階級の手に奪還することこれ即ち我が國無產階級の當面の任務である。

吾等は我が共同戰線黨組織のために終始一貫、努力奮鬪せられきたつた農民組合が共同戰線黨のために、我が國勞農大衆のために奮起せられんことを切望して止まぬ。

起て！全國の無產階級諸君、起つて黨中央委員會に對する三團體

排斥に抗議せよ。

勞農黨を勞農大衆の手に奪還せよ！

大正十五年八月三十日

日本勞働組合評議會
第三回中央委員會

× × × ×

× × × ×